

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 12 月 5 日(2022.12.5)

【公開番号】特開 2021-40787(P2021-40787A)

【公開日】令和 3 年 3 月 18 日(2021.3.18)

【年通号数】公開・登録公報 2021-014

【出願番号】特願 2019-163550(P2019-163550)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 25 日(2022.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示態様が段階的に変化可能な示唆表示を表示可能であり、前記示唆表示の表示が開始された可変表示中に前記示唆表示の表示態様が特定の段階まで変化したことに応じて特定演出を実行可能な演出実行手段と、

可変表示に関する特定表示を表示手段に表示可能な特定表示手段と、

前記特定表示の表示色を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、を備え

30

、前記特定表示の表示色は、前記有利状態に制御される期待度に応じて異なり、

通常演出状態と、該通常演出状態から移行可能な演出状態であって、前記通常演出状態よりも前記有利状態に制御される割合が高い特定演出状態と、があり、

前記特定演出状態は、前記表示手段にて表示される、少なくとも前記特定表示を含む表示対象の少なくとも一部の色数が、前記通常演出状態よりも少なく表示される演出状態であり、

前記通常演出状態のときに前記変化演出実行手段により前記変化演出を実行した場合は、前記特定表示の表示色を前記有利状態に制御される期待度に応じた表示色へ変化させる一方で、前記特定演出状態のときに前記変化演出実行手段により前記変化演出を実行した場合は、前記有利状態に制御される期待度に関わらず、前記特定表示の表示色を変化させずに共通の表示色とし、

40

前記特定演出状態から前記通常演出状態に移行したときに、前記特定表示の表示色を前記有利状態に制御される期待度に応じた表示色で表示し、

未だ開始されていない可変表示を対象として前記通常演出状態から前記特定演出状態への移行を判定し、判定対象の可変表示よりも前に実行され得る可変表示について前記変化演出が実行される場合、前記通常演出状態から前記特定演出状態への移行が制限される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
 可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつ
 表示態様が段階的に変化可能な示唆表示を表示可能であり、前記示唆表示の表示が開始
 された可変表示中に前記示唆表示の表示態様が特定の段階まで変化したことに応じて特定
 演出を実行可能な演出実行手段と、
 可変表示に関する特定表示を表示手段に表示可能な特定表示手段と、
 前記特定表示の表示色を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、を備え 10

、
 前記特定表示の表示色は、前記有利状態に制御される期待度に応じて異なり、
 通常演出状態と、該通常演出状態から移行可能な演出状態であつて、前記通常演出状態
 よりも前記有利状態に制御される割合が高い特定演出状態と、があり、
 前記特定演出状態は、前記表示手段にて表示される、少なくとも前記特定表示を含む表
 示対象の少なくとも一部の色数が、前記通常演出状態よりも少なく表示される演出状態で
 あり、
 前記通常演出状態のときに前記変化演出実行手段により前記変化演出を実行した場合は
 、前記特定表示の表示色を前記有利状態に制御される期待度に応じた表示色へ変化させる 20
 一方で、前記特定演出状態のときに前記変化演出実行手段により前記変化演出を実行した
 場合は、前記有利状態に制御される期待度に関わらず、前記特定表示の表示色を変化させ
 ずに共通の表示色とし、
 前記特定演出状態から前記通常演出状態に移行したときに、前記特定表示の表示色を前
 記有利状態に制御される期待度に応じた表示色で表示し、
 未だ開始されていない可変表示を対象として前記通常状態から前記特定演出状態への移
 行を判定し、判定対象の可変表示よりも前に実行され得る可変表示について前記変化演出
 が実行される場合、前記通常演出状態から前記特定演出状態への移行が制限される、
 ことを特徴とする。

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、
 可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態 (例えば大当り遊技状態) 30
 に制御可能な遊技機 (例えば特徴部 8 2 A K のパチンコ遊技機 1) であつて、
 表示態様が段階的に変化可能な示唆表示 (例えばメータ画像 8 2 A K 0 0 1) を表示可
 能であり、前記示唆表示の表示態様が特定の段階まで変化したことに応じて特定演出 (例
 えば、擬似連、スーパーリーチ、リーチ中カットイン演出) を実行可能な演出実行手段 (例
 えばステップ 8 2 A K S 0 0 2 やステップ S 1 7 2 の処理を実行する演出制御用 C P U
 1 2 0) を備え、
 前記演出実行手段は、前記示唆表示の表示が開始された可変表示中に前記特定の段階ま
 で変化する第 1 表示パターンと、前記示唆表示の表示が開始された可変表示中に前記特定
 の段階よりも前の段階まで変化し、当該可変表示よりも後の可変表示中に前記特定の段階
 まで変化する第 2 表示パターンと、を少なくとも含むいずれかのパターンで前記示唆表示 40
 を表示可能であり (例えば図 1 0 - 2 、図 1 0 - 9 、図 1 0 - 1 0) 、
 前記特定演出は、前記有利状態に制御される期待度を示唆するとともに、所定期間に亘
 って実行される演出であつて、
 前記演出実行手段は、前記第 2 表示パターンで前記示唆表示を表示する場合に、前記示
 唆表示の表示が開始された可変表示において前記示唆表示が変化した後、前記所定期間よ
 りも短い期間で当該可変表示が終了し、当該可変表示が終了するタイミングに応じて、前
 記示唆表示の表示が継続する旨の報知を行い (例えば図 1 0 - 2) 、
 さらに、
 前記示唆表示の表示が継続する旨の報知を行われる期間と重複して、実行前の可変表示
 に基づいて前記有利状態に制御されることを予告する予告演出を実行可能な予告演出実行 50

手段（例えばステップ 8 2 A K S 0 0 3 やステップ S 1 7 2 の処理を実行する演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、

可変表示に関する特定表示を表示手段に表示可能な特定表示手段（例えば、保留表示やアクティブ表示を行う演出制御用 C P U 1 2 0 など）と、

前記特定表示の表示色を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段（例えば、0 7 4 A K S 0 3 5 の処理を実行する演出制御用 C P U 1 2 0 など）と、を備え、

前記特定表示の表示色は、前記有利状態に制御される期待度に応じて異なり（例えば、「赤」の段階までアクティブ表示（保留表示の段階で変化する場合も含む）が変化した場合には、可変表示結果が必ず「大当り」となるなど）、

通常演出状態と、該通常演出状態から移行可能な演出状態であって、前記通常演出状態よりも前記有利状態に制御される割合が高い特定演出状態と、があり（例えば、モノクロ演出を実行する場合、モノクロ演出を実行しない場合よりも可変表示結果が大当りとなる期待度が高いなど）、

前記特定演出状態は、前記表示手段にて表示される、少なくとも前記特定表示を含む表示対象の少なくとも一部の色数が、前記通常演出状態よりも少なく表示される演出状態であり（例えば、演出制御基板 1 2 の側にてモノクロ出力処理を行うことで、画像表示装置 3 にて表示される対象の画像をモノクロ態様に変更する演出であり、予め記憶されている演出画像を表示する際に使用する色数を通常演出状態より少ない色数で表示する演出であるなど）、

前記通常演出状態のときに前記変化演出実行手段により前記変化演出を実行した場合には、前記特定表示の表示色を前記有利状態に制御される期待度に応じた表示色へ変化させる一方で、前記特定演出状態のときに前記変化演出手段により前記変化演出を実行した場合には、前記有利状態に制御される期待度に関わらず、前記特定表示の表示色を変化させずに共通の表示色とし（例えば、特定演出状態中（モノクロ演出フラグがオン状態である場合）、モノクロ出力処理が行われていることから、成功態様の変化演出が実行されても、大当り期待度に関わらず、保留表示やアクティブ表示が「白」にて表示される。一方、モノクロ演出の実行中でない通常演出状態では、表示態様変化パターンに従い、期待度に応じた表示色にて表示されるなど）、

前記特定演出状態から前記通常演出状態に移行したときに、前記特定表示の表示色を前記有利状態に制御される期待度に応じた表示色で表示する（例えば、ステップ 0 7 4 A K S 0 3 2 にてモノクロ態様での表示対象となっていた対象画像に対する使用色数が通常の色数に戻り、変化演出により表示態様が変化した保留表示やアクティブ表示を、変化後の表示色で表示するなど）。

このような構成によれば、可変表示の終了に応じて報知を行うことで、報知によって期待感を削いでしまうことを防止でき、興趣の低下を防止できる。さらに、色による期待度報知を好適に行うことができ、遊技興趣を向上させることができる。

10

20

30

40

50